

技術力・業務遂行能力向上へ

日さく 技術発表会をオンラインで開催

日さくはさきごろ、2022年度下期社内技術発表会をオンラインで開催した。全国の事業所・部門から11組12人が発表し、最優秀賞1編、優秀賞2編が選ばれた。全体テーマは「培った経験を糧にして、日々技術力向上に努めよう！」で、常時100人以上が聴講した。

同社の社内技術発表会は、定期的に集合形式で開催していたが、2020年度はコロナ禍により開催を断念、2021年度は中堅・若手社員が実

行委員会を組織し、ポトムアップで企画から当日の進行・発表を行い、オンラインでの開催を成功させた。今年度は実行委員会に新たなメンバーを加え、よりレベルアップした発表会を目指して準備を進めた。



全国の事業所・部門から発表された技術発表会

2021年度からの改善点として、社員が参加

会では技術部門だけではなく事務部門からの発表

しやすいよう時間を短縮し10〜15時の開催にするとも、上期と下期の年2回開催に変更した。上期は昨年8月に開催した。また、今回の発表

もあった。同社が目指している「役職・立場に関わらず誰でも臆せず挑戦できる環境」が浸透している表れだとしている。すべての役員および従業員のうち、3分の1以上が各事業所、現場、自宅などから聴講者として参加した。

例」、優秀賞は吉田大志氏（西日本支社さく井部さく井課）の「環境対策業務の業務内容と業務効率化」と神庭崇彰氏（大阪支店）の「電気検層を用いた琉球石灰岩の比抵抗特性とコア形状評価」が、聴講者によるアン

ケートを基にそれぞれ選ばれた。受賞者には、若林直樹社長から若手社員への期待が込められた文面の表彰状と記念品が授与される。

若林社長は「今回の発表者のみならず、社員一人ひとりが日々の業務に

丁寧に対応することにより、技術力や業務遂行能力が向上すると考えます。今後は、先を見据え、各人が社会に貢献することを意識して実力を蓄えることを期待しています」とコメントしている。